

～玉名市まちなかグランドデザイン～

まちなか未来図

アクションプログラム

素案

第2回デザイン協議会版

※レイアウト調整

令和8年1月 玉名市

もくじ

序章

はじめに

アクションプログラムの概要や位置付け

4

プログラムの概要や行政内における
計画の位置づけなどについての説明

第1章

具体施策と概要

コンセプト毎の取組内容、評価指標

10

成果指標(KGI・KPI)など
についての説明

第2章

リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトの内容

14

**【最重要】 先導的に取り組む事業
リーディングプロジェクト
についての説明**

第3章

進行管理

推進体制、進行管理の方法

26

推進体制や進行管理(PDCA)
についての説明

巻末

関連施策一覧

29

リーディングプロジェクト以外の施策を含む
まちなかにおける関連施策を一覧表で提示

はじめに

アクションプログラムの概要や位置付け

アクションプログラムの構成

アクションプログラムは、その位置付けや構成に関する序章、まちなか未来図の実現に向けた具体施策とその概要、実現に向けた取組をけん引するリーディングプロジェクト、アクションプログラムの進行管理に関する4章構成としています。

序章

- アクションプログラムの概要や位置付け

あくしょんぷろぐらむ？って何だろう



アクションプログラムの概要や位置付けについて説明しています。

第1章 具体施策と概要

- コンセプトに基づく施策と効果
- 関連施策一覧表(参考資料)

玉名市まちなか未来図掲げる5つのコンセプトに関連する具体的な取組の概要とその効果や目標を整理しています。

第2章 リーディングプロジェクト

- リーディングプロジェクトの選定基準
- プロジェクト①
- プロジェクト②
- プロジェクト③
- プロジェクト④

玉名の未来図を実現するためのたくさんの取組がまとめられているんだね！



未来図の実現にむけた最初のアクションプログラムとして、特に重要度が高く、他施策を先導する核となる動き、象徴的・けん引的な役割を持つ取組を「リーディングプロジェクト」として選定し、各プロジェクトの事業内容や効果、ロードマップ等を整理しています。

第3章 進捗管理

- アクションプログラムの進行管理

アクションプログラムを実行、見直ししていくための進捗管理の方法を整理しています。

アクションプログラムって？

玉名市のアクションプログラムは、令和7年3月に公表した「～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図」（以下、まちなか未来図という。）で描いた「まちづくりの青写真」を「現実の行動」に変えるための具体的な設計図です。

まちなか未来図の実現にむけて、公民連携で一歩ずつ進めていくため、誰が、いつ、何をするかを整理し、状況に応じて見直しを行いながら、今後、公有地利活用などの具体化とあわせ、社会実験や小規模イベントから始まり、成果と課題を検証しながら、まちのにぎわい創出へとつなげていきます。

まちなか未来図



計画期間:20年

まちなかの未来を示す大きな方向性

アクションプログラム(段階的な実行計画)

第1期

Ver1.0 ……1.x

第2期

Ver2.0 ……2.x

第3期

Ver3.0 ……3.x

第4期

Ver4.0 ……4.x

計画期間:1～5年

未来図実現に向けた具体施策・目標値・ロードマップ。状況変化による施策の追加や効果検証を行い更新を続ける

- ・更新・見直しの目安は5年ごと。
- ・進行管理を行いながら、適時バージョンアップしていく。

- リーディングプロジェクト
- その他具体施策



アクションプログラムは、できることから小さくはじめ、見直しを行いながら一歩ずつ実現を目指すものです。様々な主体を巻き込みながら、継続的な議論を重ね、みんなでバージョンアップしていきましょう！

計画期間:事業毎に設定

アクションプログラムに基づく具体施策

アクションプログラムの特徴と策定する効果

アクションプログラムは、まちなか未来図と連動した実行計画で、公民連携での取組の実施主体やロードマップ、成果指標を明確にしたものです。アクションプログラムの策定によって関係施策の連携など効率的な事業推進や、関係者間での取組の共有が期待できます。

主な特徴

■ 「まちなか未来図」との連動

まちなか6地区の課題や可能性、将来像（例：交流拠点の形成、暮らしやすさの向上）を描いた「まちなか未来図」を上位構想として位置づけ、それを実現するための具体的な取組を整理しています。

■ 誰が・いつ・何をするかを明示

各施策や事業ごとに、実施主体（市民団体、事業者、行政など）を明確にし、実施時期や優先度を行程表（ロードマップ）として整理しています。

各主体の役割を明示することで、責任や期待が可視化され、連携の促進が期待されます。

■ 公民連携による推進

アクションプログラムは行政だけでなく、市民や事業者が参画しながら検討・実施する過程を通じて作られるものです。

ワークショップなどを通じて、地域の多様な声を取り入れ、実行力ある計画としています。

■ ロードマップ(実行スケジュール)とKPI(成果指標)

中短期的な工程表を作成し成果を可視化するためにKPI（指標）を設定し、進捗管理や見直しにも活用します。

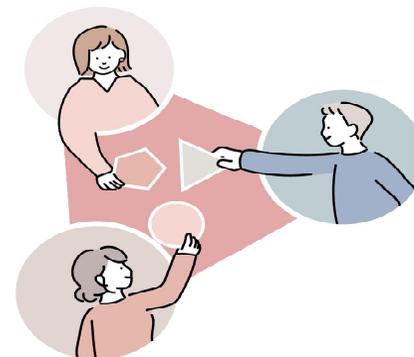
策定の効果

■ 効率的な事業推進

同時に並行する関連業務の足並みを整え、効率的・効果的な事業推進が可能になります。

■ 仲間を増やす

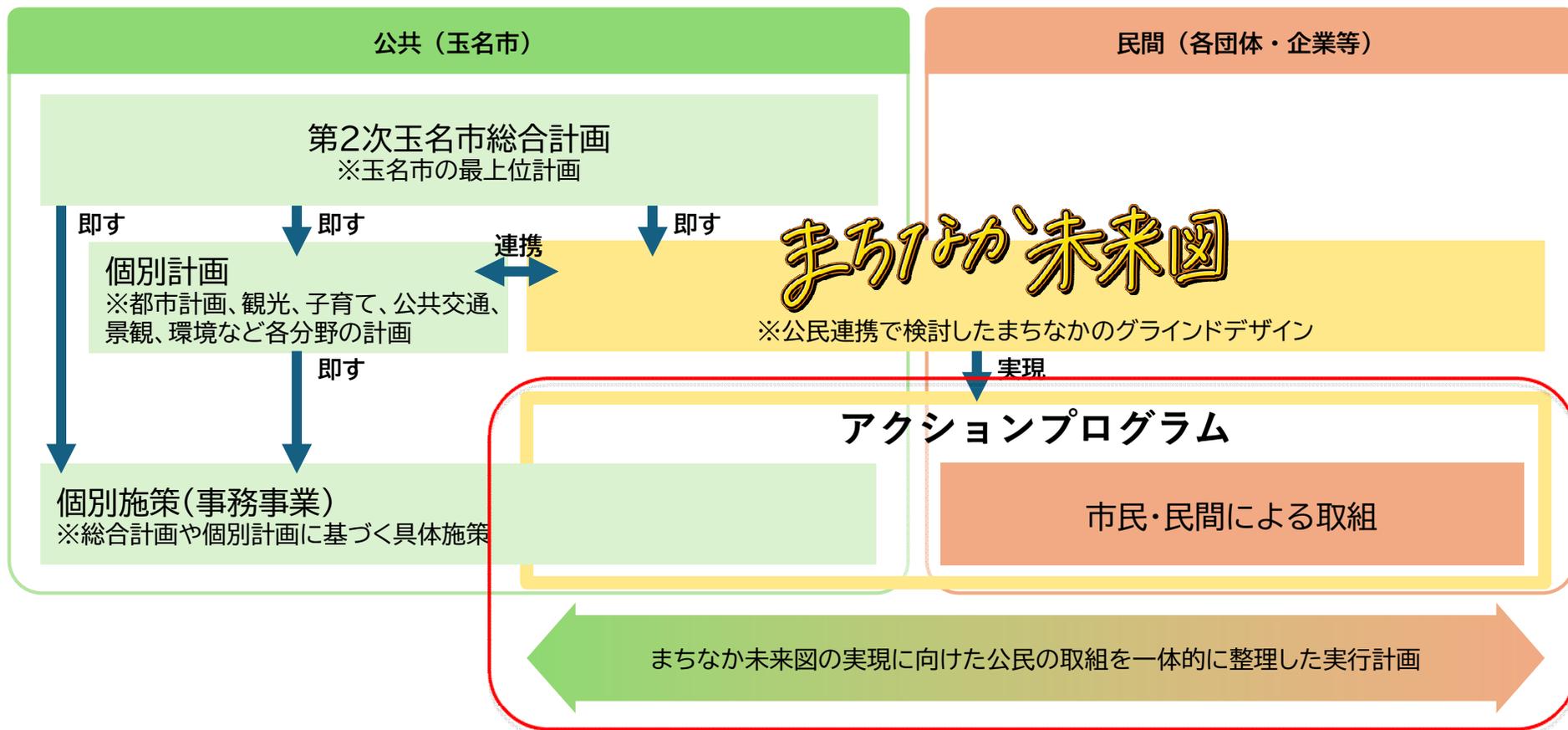
様々な分野のまちづくり活動に関わっている個人・団体・企業等をつなぎ、仲間を増やしていきます。



アクションプログラムの位置付け

玉名市まちなか未来図は、玉名市の最上位計画である「玉名市総合計画」や「笑顔をつくる10年ビジョン」において、市民の笑顔づくりに向けた様々な取組を進める一環として、令和5年度に立ち上がった「玉名市まちなか未来プロジェクト」が発端となりました。その後、令和6年度に公民連携の検討を進め、玉名市のまちなかのまちづくりの指針として策定したものです。

アクションプログラムは、まちなか未来図の実現に向けた市民・民間の取組と、玉名市の総合計画や個別計画に基づく個別施策（公共施策）を一体的に整理したもので、公民連携で取り組んでいく実行計画となります。



具体施策・リーディングプロジェクトの整理手順

アクションプログラムの策定は、施策の洗い出し、具体施策の整理・項目分類、リーディングプロジェクトの抽出、ブラッシュアップを公民連携で話し合いながら行いました。

施策の洗い出しにおいては、庁内全課や市民・民間のあらゆる施策について、まちなか未来図のコンセプトや区域に合致する取組・施策についてヒアリングを行いました。行政、民間、学識、学生などあらゆる立場の人が集う合同会議では、具体施策の整理や項目分類、リーディングプロジェクトの抽出をワークショップ形式で行いました。また、合同会議と同時開催で、公民連携のまちづくりやKGI・KPI設定に関する連続講演会を開催し、まちづくりの進め方に関する知見を深めました。その後、各取組の事業熟度や連携策について、各課・団体等でそれぞれ精査や会議でのブラッシュアップを重ね、アクションプログラムとして整理しています。



第1章

具体施策と概要

コンセプトに基づく具体取組の整理

まちなか未来図のコンセプト毎に、関連する取組例とその効果について整理します。具体施策の一覧は、巻末に参考資料として掲載しています。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる～やりたい遊びや仕事にチャレンジし、実現できるまちなか～

取組内容・施策の例

『公』主体	公共空間・跡地・空き家などの利活用策の検討、まちなか・公共施設の整備や管理、民間活力導入の検討
『民』主体	跡地・公共空間・空き家活用等のトライアル、各種イベントの開催、まちづくり・景観形成への参加

取組による目指す効果

跡地・公共空間活用や駅周辺などの拠点整備、公共施設管理といった新たなにぎわいづくりを、公民連携して取り組み、まちなかが「なんだかおもしろそう！」「自分も参加したい！」と多くの人が思えるエリアに

主な施策の
イメージ・写真等

かたろう！ 玉名のスキ！を「かたり」あう～楽しく、自由に思いを語り、集いに参加できるまちなか～

取組内容・施策の例

『公』主体	まちなか未来図の検討やまちなかプラットフォームの組織形成、子育て拠点や文化施設等の整備・管理
『民』主体	各種イベントや交流活動の実施、情報発信

取組による目指す効果

まちなか未来図のブラッシュアップや計画に位置付けられたイベントなど取組の実行を継続的に行い、玉名のまちづくりへの参加者が増え、まちなかプラットフォームの輪を広げていく

主な施策の
イメージ写真等

コンセプトに基づく具体取組の整理

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する～家族や仲間たちとほっとする場所や時間をみんなで作くり、共感できるまちなか～

取組内容・施策の例

『公』主体 道路・交通・公園・下水道などの都市基盤整備、防災対策の強化

『民』主体 過ごしやすい道路・公園管理への参加、地域での防災活動

取組による目指す効果

インフラ整備や防災対策を推進し、誰もがほっと安心して過ごせるまちなかを実現する

主な施策の
イメージ・写真等

はぐくもう！ 玉名がスキ！を育てる～仲間や、何よりも大切な子どもたちと一緒に地元の歴史・文化・自然を育むまちなか～

取組内容・施策の例

『公』主体 子育て・教育・福祉などの支援充実、若者・多世代の交流促進

『民』主体 多世代で学ぶ場や交流の場づくり

取組による目指す効果

子どもや若者が健やかに育ち、多世代交流、多様な体験を通じて玉名への愛着を形成する

主な施策の
イメージ・写真等

つながろう！ 人と地域、未来とつながる～歴史と文化、社会・経済や多様な人々と、みんながつながり支え合うまちなか～

取組内容・施策の例

『公』主体 歴史あるイベントの継続支援や文化財等の保護・活用、官学連携の推進

『民』主体 地域・関係団体との連携促進、情報発信

取組による目指す効果

これまで受け継いできた歴史・文化の保全・活用・発信により、多くの人に玉名の魅力が広がる・つながる

主な施策の
イメージ・写真等

目標値

検討中

(LP検討結果を受けて最終調整予定)

最上位KGI: *みんなできつろう! 幸せ実感、大好き玉名* の実現に向けて

各コンセプトに基づく取組を進めることで、まちなか未来図のあいことばである「みんなできつろう! 幸せ実感! 大好き玉名」の実現を目指します。また、その効果として市民の幸福度の向上やまちなかの人口・来訪者数の増加を目指し、以下の目標値を設定します。

目標値		現在値	目標値 (R27)	備考
目標値案①	市民の幸福度(平均点)	6.67点 (R7)	●点	総合計画アンケート調査
目標値案②	まちなか区域の人口	15,440人 (R2)	●人	国勢調査
目標値案③	まちなかエリアへの来訪頻度 (週数回以上の割合)	46.6% (R7)	●%	アクションプログラムアンケート調査

中間KGI: やろう! かたろう! ほっとしよう! はぐくもう! つながろう! の実現に向けて

各コンセプトの取組効果の実現に向けて以下の目標値を設定します。

コンセプト	目標値	現在値 (R7)	目標値 (R27)	備考
やろう!	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会があると感じる人の割合	7.60%	●%	総合計画アンケート調査
かたろう!	まちなかエリア内で、まちの魅力向上のためのワークショップやイベント等で楽しく過ごせた人の割合	81.30%	●%	アクションプログラムアンケート調査
ほっとしよう!	防災対策がしっかりしていると感じる人の割合	23.10%	●%	総合計画アンケート調査
	まちなかエリア内で、「ほっとする」場所があると感じる人の割合	28.00%	●%	アクションプログラムアンケート調査
はぐくもう!	地域のまちづくり活動に関心を持つ若者や子育て世代が増えていると感じる人の割合	13.50%	●%	アクションプログラムアンケート調査
つながろう!	玉名のまちなかの魅力をSNS や口コミなどで発信したことがある人の割合	6.60%	●%	アクションプログラムアンケート調査

※KGI (Key Goal Indicator) : 最終的なゴールとなる重要目標指標
 KPI (Key Performance Indicator) : 施策を評価する中間指標

第2章

リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトの選定

●重要度が高く他の施策をけん引する取組を一つのプロジェクトとして連携しながら取り組みます。

まちなか未来図の実現にむけて、複数の関連する事業の連携を図り、一つのプロジェクトとして実施することで個別に着手するよりも効果を発揮することが期待できます。そこで、特に重要度が高く、他施策を先導する核となる動き、象徴的・けん引的な役割を持つ取組を「リーディングプロジェクト」としてまとめ、公民連携で取り組みます。リーディングプロジェクトは、事業の進捗によって、適宜追加・統合など見直ししながら運用します。

リーディングプロジェクト①



交流
プロジェクト

まちなかエリア全体や核となる
場所における多様な交流

はぐくもう！ かたろう！

リーディングプロジェクト②



中央病院
跡地利活用
プロジェクト

やろう！ かたろう！ つながろう！

リーディングプロジェクト③

旧庁舎
跡地利活用
プロジェクト



やろう！ かたろう！ はぐくもう！

◆◆
プロジェクト

●●
プロジェクト

リーディングプロジェクト④

各プロジェクトや未来図実現
の土台となる基盤整備

まちなか整備
プロジェクト



ほっとしよう！

リーディングプロジェクト①交流プロジェクト

はぐくもう！ かたろう！

プロジェクトのねらい

学び・遊び・相談・活動がつながる、
多世代交流の循環をつくる

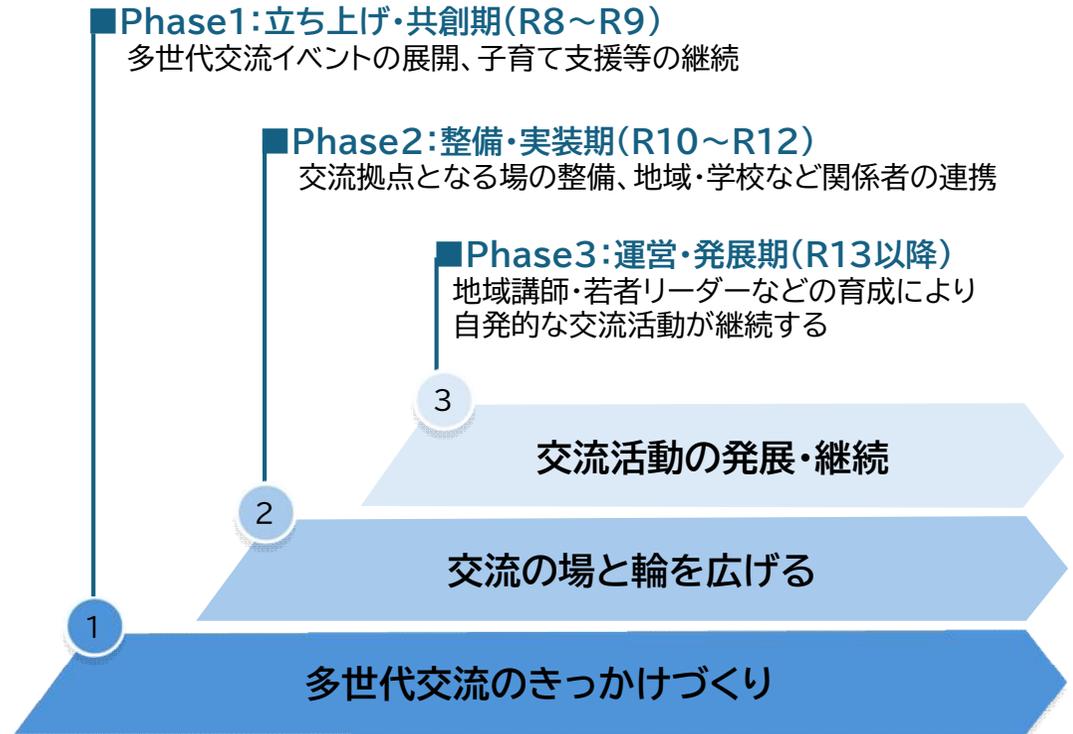
少子高齢化が進む中で、子育て世帯や高齢者の孤立防止、地域の支え合いが求められます。
多世代の交流の場を設けることによって、あらゆる立場・世代を超えた人のまちづくり参加を促し、地域のつながりを強め、玉名への愛着の醸成につながります。

プロジェクトの取組指標(KPI)

取組指標	基準年	目標年
子育て支援関係事業の相談件数	○人	○人
まちづくり活動参加者数	○人	○人

取組方針

- 多世代の参加と交流を日常的に生み出す・子育て世代が“気軽に立ち寄れる・相談できる・仲間と出会う”場をまちなかに確保します。
- 活動団体・学生・行政が連携する「共創のプラットフォーム」を構築します。
- 公園、庁舎跡地、文化施設、商店街などを交流拠点として再生・交流を通じた愛着醸成、若者定着・関係人口増加を実現します。



リーディングプロジェクト① 交流プロジェクト

事業名	内容	直近		短期			中期	長期	事業主体	関連施策 位置付け可否
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~17	R18以降		
中心となる施策										
子育て支援拠点事業	親子で集える場所を作り、相談や交流を通じて不安解消や仲間づくりを支援				乳幼児を持つ保護者の交流の場づくり				市（子育て支援課）	
高校の魅力化事業	高校生のまちへの愛着醸成とまちづくり参加を促し移住・リターンへ繋げる				未来づくり研究所の実施（7回/年）				市（地域振興課）	位置づけ要調整
					高校まつりの開催（1回/年）					
新たに実施・検討を進める施策										
まちなかデザイン構築事業	市民との連携を図り、賑わいと魅力ある中心市街地形成を推進	個別計画の策定	個別計画の進捗管理			AP見直し	活動の継続		市（都市整備課）	
玉名市まちなかプラットフォーム基盤強化事業	まちなか魅力向上委員会を支援し、官民が協働する自主可能な組織体制を強化	事業連携検討のサポート			副業型地域活性化起業人による支援		都市再生推進法人等組織化の検討		市（都市整備課）	
取組マッチング	魅力向上委員会が各種団体の活動のマッチングを行い、地域の人事部のような役割を担えるような仕組みづくり	事業連携検討のサポート							魅力向上委員会	記載方法を魅力向上委員会内で調整中
イベント・場づくり	多世代間で学ぶ場づくり、鶴の河原イベント、プレイパークなど	事業の情報発信に向けたイベントや情報発信での連携							魅力向上委員会	
情報発信・SNS活用	情報発信・SNS活用								魅力向上委員会	
継続して実施する施策										
放課後児童健全育成事業（学童保育）	放課後に生活・遊びの場を提供し、子どもの健全育成と保護者の就労両立を支援				小学生の放課後の居場所づくり				市（子育て支援課）	
ファミリーサポートセンター事業	親と子どもの預かりを支援したい人をつなぎ、育児を助け合う仕組みを推進				子供・育児への地域サポーターとサービスを必要とする人のマッチングを行う。（随時提供するサービス）				市（子育て支援課）	位置づけ要調整
利用者支援事業	子育て・保育施設や支援事業の情報提供・相談を行い、子育てを支援を促進				子育てに関する情報の共有、周知・広報など				市（子育て支援課）	位置づけ要調整

関連施策：中心施策と連動し、付加価値や相乗効果を図る施策

先導的に取り組んでいく事業群：リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクト①交流プロジェクト

主な事業の詳細イメージor参考事例

本スライド記載内容イメージ(具体事業の内容)

旧庁舎跡地利活用

中心となる行政機能

子育て応援施設
(子どもの遊び場)

避難所機能

ビジョン

子どもが健やかに成長し
親が安らぎを感じる空間

- 子どもが元気いっぱい遊び、学び、成長できる場所
- 親が安心して自分の時間を過ごし、リラックスできる場所

子どもも親も周囲の人も
笑顔になる空間を実現します



中央病院跡地利活用

中心となる行政機能

図書館

コミュニティ
スペース

屋外広場

ビジョン

自分らしく過ごせる家、ともに活動できる基地

- 若者が「憧れる大人」に出会い、そんな大人を目指す場所
- それぞれが自分の人生の主役となり、やってみたいを
実践できる場所
- 悩みがあるときはここを訪れ、
人とのつながりの中で自分らしい時間を過ごす場所

ここでの日常が玉名での
いい思い出になる空間を実現します



商業施設跡地利活用

ビジョン

地域の回遊性を高める拠点

人の回遊を生み出すことで、
風情ただよ町並みを持つ
ポテンシャルを引き出します



本スライド記載内容イメージ(具体事業関連の参考事例)

◆ 参考事例

1

音信川うたあかり (山口県長門市)

- 長門湯本温泉では、閑散期である冬期の誘客に向けて、2019年からライトアップイベント「うたあかり」を1~3月に実施
- 温泉街全体が幻想的なライトアップに包まれる様子が評判を呼び、現在は「うたあかり」期間の入込観光客数は好調に推移



画像出所) 長門市HP「音信川うたあかり2024」

要検討
●詳細紹介事業の抽出
※書けそうなもの、書きたいものがあればこちらに記載
※他LPについても同様

リーディングプロジェクト②中央病院跡地活用プロジェクト

やろう！ かたろう！ つなごう！

プロジェクトのねらい

図書館を核に、市民とつくるまちなかの未来拠点

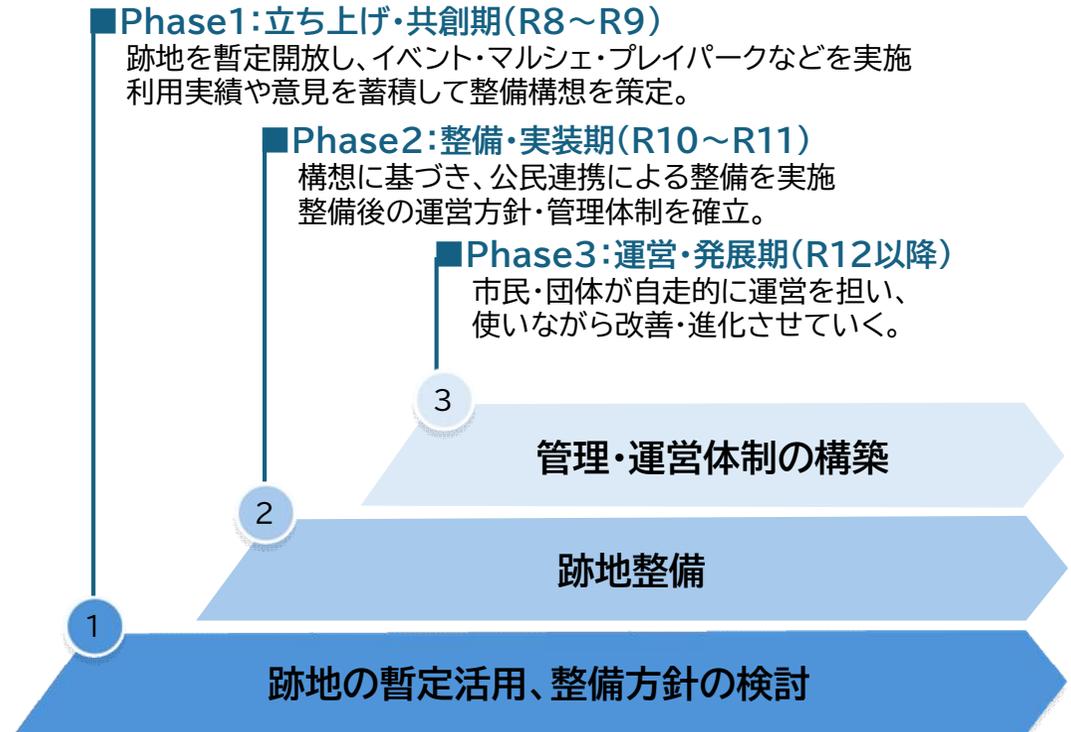
中央病院跡地活用の検討にあたって、暫定的な活用やイベントを通じて、跡地周辺の学生や住民など、多くの市民の声を聞く機会を設け、みんなで理想の将来像を描きます。

プロジェクトの取組指標(KPI)

取組指標	基準年	目標年
中央病院跡地活用に向けた社会実験やイベント等の出店事業者数	〇回	〇回
活用イベント等におけるSNS投稿数	〇件	〇件

取組方針

- トライアル活用を通じて、跡地の最適な使い方・運営方式を市民と一緒に見極めます。
- 活用案を整備計画に反映させ、“使われる拠点”をつくる・使うことで人が集まり、にぎわい・交流・学びが自然に育つ環境をつくります。
- 若者・子育て世帯・高齢者・学生など、多様な人の“やってみたい”を受け止める場をつくれます。



リーディングプロジェクト②中央病院跡地活用プロジェクト

事業名	内容	直近		短期			中期	長期	事業主体	要調整等		
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~17	R18以降				
中心となる施策												
中央病院跡地活用	中央病院跡地の活用検討・手法の検討		サウンディング 基本構想・基本計画		民間事業者選定 (PPP/PFI) 設計・施行		開館		市(管財課) 民間			
		活用結果を施設検討に反映			地域協働開始							
中央病院跡地でのトライアル・情報発信	中央病院跡地でのイベント開催等、実験的に活用(トライアル)し、効果や課題を検証する		活用実験イベント	活用状況や地域協働などの定期的な情報発信							魅力向上委員会	記載方法を魅力向上委員会内で調整中
新たに実施・検討を進める施策												
高校の魅力化事業	高校生のまちへの愛着醸成とまちづくり参加を促し移住・リターンへ繋げる	跡地活用へ若者のアイデアを反映		7回/年実施	整備結果の反映							
3D都市モデルユースケース開発事業	市内3D都市モデルを活用し、防災・観光・公園整備など幅広い分野で利活用できる仕組みを開発	跡地活用の検討材料として3D活用			活用方法の検討			3D都市モデルの更新				
まちなかデザイン構築事業	市民との連携を図り、賑わいと魅力ある中心市街地形成を推進	個別計画の策定	個別計画の進捗管理 公民連携活動の推進		AP見直し	活動の継続			市(都市整備課)			

リーディングプロジェクト③旧庁舎跡地活用プロジェクト

やろう! かたろう! はぐくもう!

プロジェクトのねらい

子育て応援拠点を核に、
市民とつくるまちなかの未来拠点

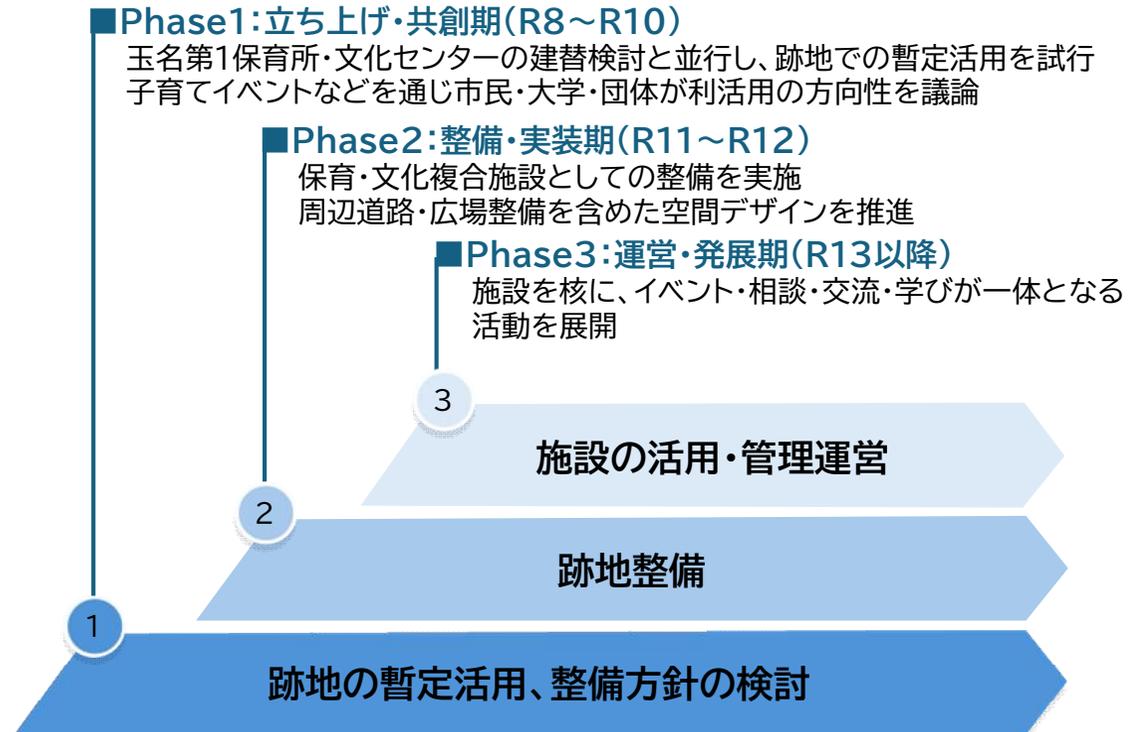
玉名第1保育所、文化センター建替えを含めた旧庁舎跡地の利活用に向けて、子ども～高齢者まで多世代が集い、交流できる「お茶の間」のような複合的な公共施設の整備の検討、実現を目指します。

プロジェクトの取組指標(KPI)

取組指標	基準年	目標年
跡地活用に向けた社会実験イベント等の出店事業者数	〇回	〇回
子育て世帯のWSや社会実験等の参加者数	〇人	〇人

取組方針

- トライアル活用を通じて、跡地の最適な使い方・運営方式を市民と一緒に見極めます。
- 活用案を整備計画に反映させ、“使われる拠点”をつくる・使うことで多様な人が集まり、にぎわい・交流・学びが自然に育つ環境をつくります。
- 防災機能を併せ持ち、利用者や周辺住民が安心して過ごせる場所を目指します。



リーディングプロジェクト③旧庁舎跡地活用プロジェクト

事業名	内容	直近		短期			中期	長期	事業主体	要調整等		
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~17	R18以降				
中心となる施策												
庁舎跡地等活用検討事業	子育て応援施設を核とした市民に愛される魅力ある空間及び避難所機能を持った施設整備	サウンディング	設計・施行			民間による施設運営			市（企画経営課）			
新たに実施・検討を進める施策												
		各施設検討との連携			各施設運営との連携							
玉名第1保育所整備事業	老朽保育所を移転新築し、公立保育所の機能を整え安心・安全な保育環境を提供	旧庁舎跡地と一体的に整備			施設運営			市（子育て支援課）				
全天候型子どものあそび場の整備	雨天でも遊べるや公園設置といった要望を踏まえ、子どもの遊べる環境を整備	旧庁舎跡地と一体的に整備			施設運営			市（子育て支援課）				
文化センター改修検討事業	文化センターの改修検討を行う。	電気系統改修	現状維持			整備、供用 図書館・公民館機能の病院跡地への移転			市（コミュニティ推進課）	位置づけ要調整		
子ども家庭総合支援拠点事業	子育て家庭の相談拠点を設置し、保健と福祉が連携・協働して切れ目ない支援を提供	庁舎跡地での拠点形成検討			手続き等	跡地におけるハブ機能運営			市（子育て支援課）			
		子育てに関する情報の共有、周知・広報など										
まちなかデザイン構築事業	市中心部の活力と魅力を高めるため、公共施設の複合化、市民活動と連携して「玉名市まちなか未来図」の検討を進める。	個別計画の策定	個別計画の進捗管理 公民連携活動の推進			AP見直し	活動の継続			市（都市整備課）		
くまモン活用地域資源創出業務委託事業	くまモンを活用し、観光客増加や滞在促進で地域の魅力を発信	商品開発コンペ									市（観光物産課）	位置づけ要調整
イベント	マルシェ、夜市、ウォーキングイベント、鶴の河原のイベントなど									魅力向上委員会	記載方法を魅力向上委員会内で調整中	
情報発信	情報発信・SNS活用、地域の人や団体との交流・知名度拡大									魅力向上委員会		
公共交通	ライドシェアなど市民同士の助け合い									魅力向上委員会		
まちなか・都市整備	温泉地区の夜間景観そぞろ歩き									魅力向上委員会		
プレイパーク	地域の人が見守りながら、子どもが自由な遊びで学びを深める広場									魅力向上委員会		
継続して実施する施策												
利用者支援事業	子育て・保育施設や支援事業の情報提供・相談を行い、子育て支援を促進	子育てに関する情報の共有、周知・広報など								市（子育て支援課）	位置づけ要調整	
タマにゃん教室事業	不登校児童生徒への支援は、学校に登校するという結果のみを目標とはせず、自分の進路を主体的に捉え、社会的自立を目指していく	不登校児童生徒の居場所づくり								市（教育総務課）		

リーディングプロジェクト④まちなか整備プロジェクト ほっとしよう!

プロジェクトのねらい

空間を整え、人が集い笑顔あふれる、
まちなかの好循環をめざす

玉名のまちなかの魅力を活かし、市民が行きたくなる・居心地の良い場所づくりを通じて、交流やにぎわいが生まれるまちなかを目指します。

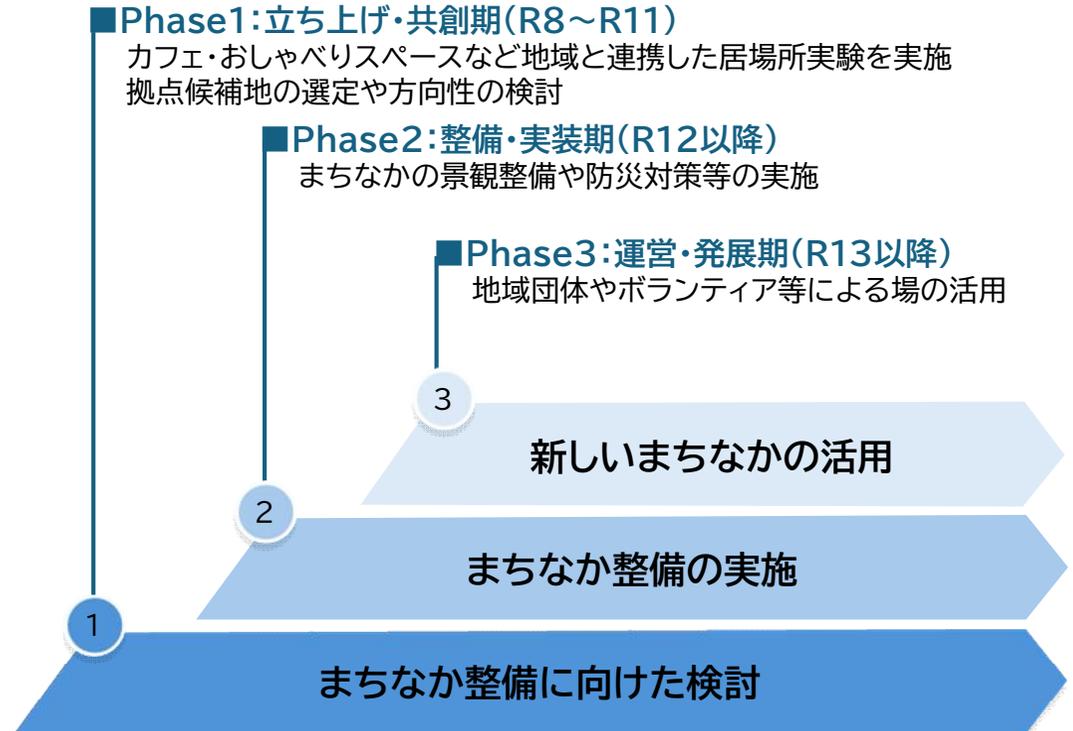
また、防災面の強化により、安心して住み続けられるまちなかを目指します。

プロジェクトの取組指標(KPI)

取組指標	基準年	目標年
公民連携によるまちなか整備の検討・実施	○箇所	○箇所
地区防災計画や地区避難計画の策定数	○箇所	○箇所

取組方針

- 駅周辺や跡地などまちなかの核を再生し、人と活動が集まる中心性を取り戻す・歩きやすい・滞在しやすい・安心して過ごせる公共空間整備を行います。
- 市民やまちづくりの担い手が使いやすい「心地よい居場所」を創出します。
- イベント・交流と空間整備を連動させ、地域主体のにぎわいづくりを促進・回遊性を高め、エリア全体を一体として活性化につなげます。



リーディングプロジェクト④まちなか整備プロジェクト

事業名	内容	直近		短期			中期	長期	事業主体	要調整等
		R8	R9	R10	R11	R12	R13~17	R18以降		
中心となる施策										
まちなかデザイン構築事業	市民との連携を図り、賑わいと魅力ある中心市街地形成を推進	個別計画の策定	個別計画の進捗管理 公民連携活動の推進			AP見直し	活動の継続		市（都市整備課）	位置づけ要調整
新たに実施・検討を進める施策										
3D都市モデルユースケース開発事業	市内3D都市モデルを活用し、防災・観光・公園整備など幅広い分野で活用できる仕組みを開発	AP個別計画検討・運営での3Dモデル活用					3D都市モデルの更		市（都市整備課）	
★追加案★ 災害時要援護者避難支援対策会議業務	要援護者避難支援の会議を開き、関係機関と情報共有し連携を図る	避難支援対策における3Dモデル活用							総合福祉課	位置付け要調整
都市地域総合交通戦略策定事業	多様な交通体系を整理し、駅周辺整備や公共交通の利用促進など交通関連施策の戦略的な実施	構想・基本計画	基本設計	詳細設計		工事施工			市（都市整備課）	
イベント・場づくり	地域・趣味での集まり、プレイパークなど								魅力向上委員会	記載方法を魅力向上委員会内で調整中
継続して実施する施策										
子育て支援拠点事業	親子で集える場所を作り、相談や交流を通じて不安解消や仲間づくりを支援	事業周知・情報発信のための3Dモデル活用					乳幼児を持つ保護者の交流の場づくり		市（子育て支援課）	
ファミリーサポートセンター事業	親と子どもの預かりを支援したい人をつなぎ、育児を助け合う仕組みを推進	子供・育児への地域サポーターとサービスを必要とする人のマッチングを行う。（随時提供するサービス）					ファミサポ利用者・支援者によるモビリティ活用		市（子育て支援課）	位置づけ要調整

リーディングプロジェクトの取組と目標との関係性

効果検証：5年に一度		達成状況検証：毎年		
まちなか未来図の全体目標 (最終KGI)	コンセプト毎の効果目標 (中間KGI)		LP取組目標 (KPI)	取組事業 (LP関連施策) ※赤字は魅力向上委員会施策
市民の幸福度の向上 まちなかエリア人口増加 まちなかエリアへの 来訪頻度の増加	やろう！	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会があると感じる人の割合	LP②中央病院跡地活用に向けた社会実験やイベント等の開催	<ul style="list-style-type: none"> 中央病院跡地利活用 中央病院跡地トライアル・情報発信 高校の魅力化事業 3D都市モデルユースケース開発事業
			LP③旧庁舎跡地活用に向けた社会実験やイベント等の開催	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎跡地等活用検討事業 庁舎跡地等活用検討事業 玉名第1保育所整備事業 全天候型子どものあそび場の整備 くまモン活用地域資源創出業務委託事業 プレイパーク・イベント等 (魅力事業)
	かたろう！	まちなかエリア内で、まちの魅力向上のためのワークショップやイベント等で楽しく過ごせた人の割合	LP①まちづくり活動参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 高校の魅力化事業 玉名市まちなかプラットフォーム基盤強化事業 取組マッチング/イベント・場づくり/情報発信
	ほっとしよう！	まちなかエリア内で、「ほっとする」場所があると感じる人の割合	LP④地区防災計画や地区避難計画の策定数	<ul style="list-style-type: none"> まちなかデザイン構築事業 3D都市モデルユースケース開発事業 災害時要支援者避難支援対策業務
			LP④公民連携によるまちなか整備の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> まちなかデザイン構築事業 3D都市モデルユースケース開発事業 都市地域総合交通戦略事業 イベント・場づくり
	はぐくもう！	地域のまちづくり活動に関心を持つ若者や子育て世代が増えていると感じる人の割合	LP①子育て支援関係の相談件数	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点事業 放課後児童健全育成事業 (学童保育) ファミリーサポートセンター事業 のびのび子育て支援事業 妊産婦のための心理相談 取組マッチング/イベント・場づくり/情報発信
			LP③子育て世帯のWSや社会実験等の参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎跡地等活用検討事業 玉名第1保育所整備事業 全天候型子どものあそび場の整備 子ども家庭総合支援事業 プレイパーク・イベント等 利用者支援事業 タマニャン教室事業
	つながろう！	玉名のまちなかの魅力をSNS や口コミなどで発信したことがある人の割合	LP②活用イベント等におけるSNS投稿数	<ul style="list-style-type: none"> 中央病院跡地でのトライアル・情報発信

第3章 進行管理

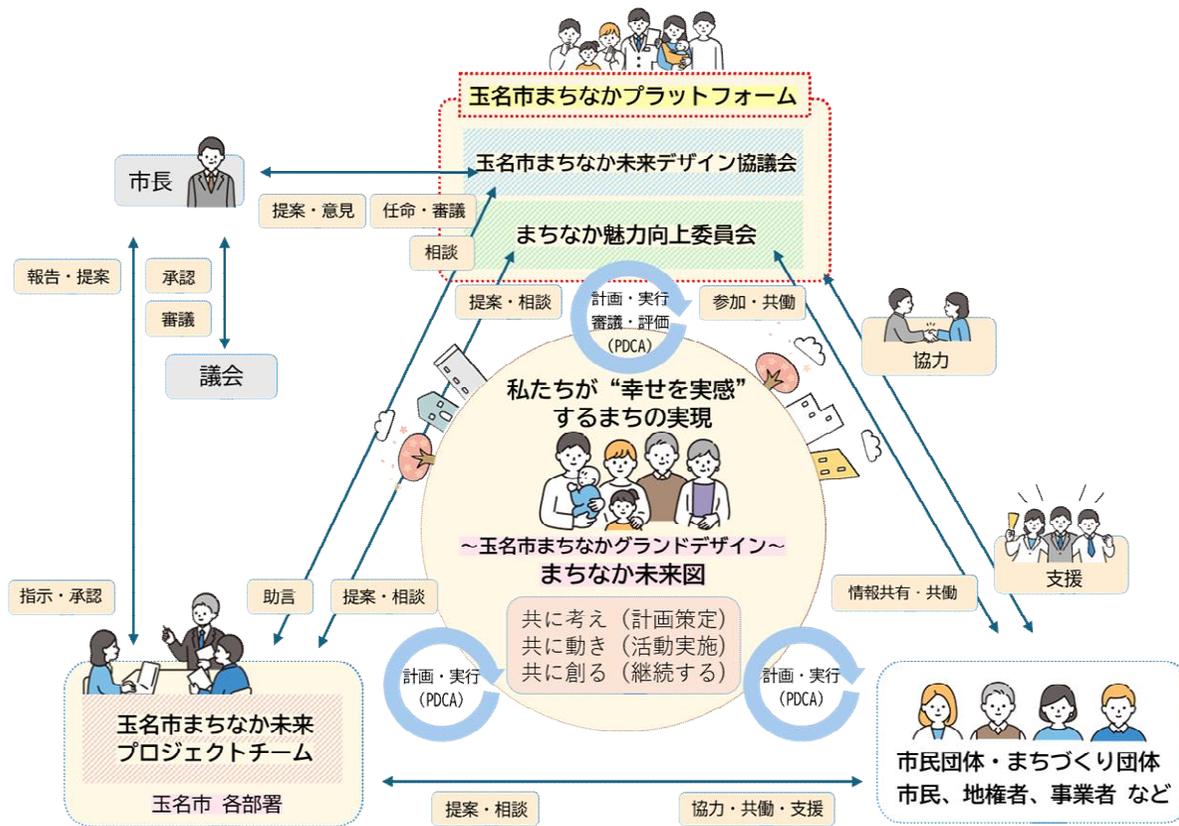
推進体制

●市民・事業者・行政がそれぞれの役割を担いながら協力して進めます。

「まちなか未来図」の実現に向けて各組織が「共に考え、共に動き、共に創る」の考えのもと、様々な取組や進捗管理を官と民が連携して行います。また、官民ともに活動の透明性を確保し、広報やプロモーション活動に取り組むことで新たな仲間を増やしていきます。さらに、民間組織が自己資金や収益モデルを持ち、“持続的に活動する”自走できる組織づくりに取り組んでいきます。

それぞれの役割

- **玉名市まちなか未来デザイン協議会**
まちなか未来図の実現に向けた取組などを応援・審議し、まちづくりの進捗についての助言・評価を行います。
- **まちなか魅力向上委員会**
少しずつ仲間を増やし、社会実験等の活動を通して行政と協力しながら地域資源の利活用やソフト面を主としたチャレンジを進めます。
- **市民や事業者、市民団体など**
地域に根差した取組を実施し、活動を通して自身の健康増進や人々との交流を深めながら、地域の活性化や安全安心な暮らしの保全などに向けた、自分にできる範囲の活動を継続して行います。
- **行政**
ソフトとハードの相乗効果を最大限に発揮するため、市民や事業者、市民団体などと協力し、ハード事業の検討やまちづくり活動の実施、市民活動への支援などを行います。また、民間活力を導入した都市基盤の整備や公有地の利活用などを進めます。

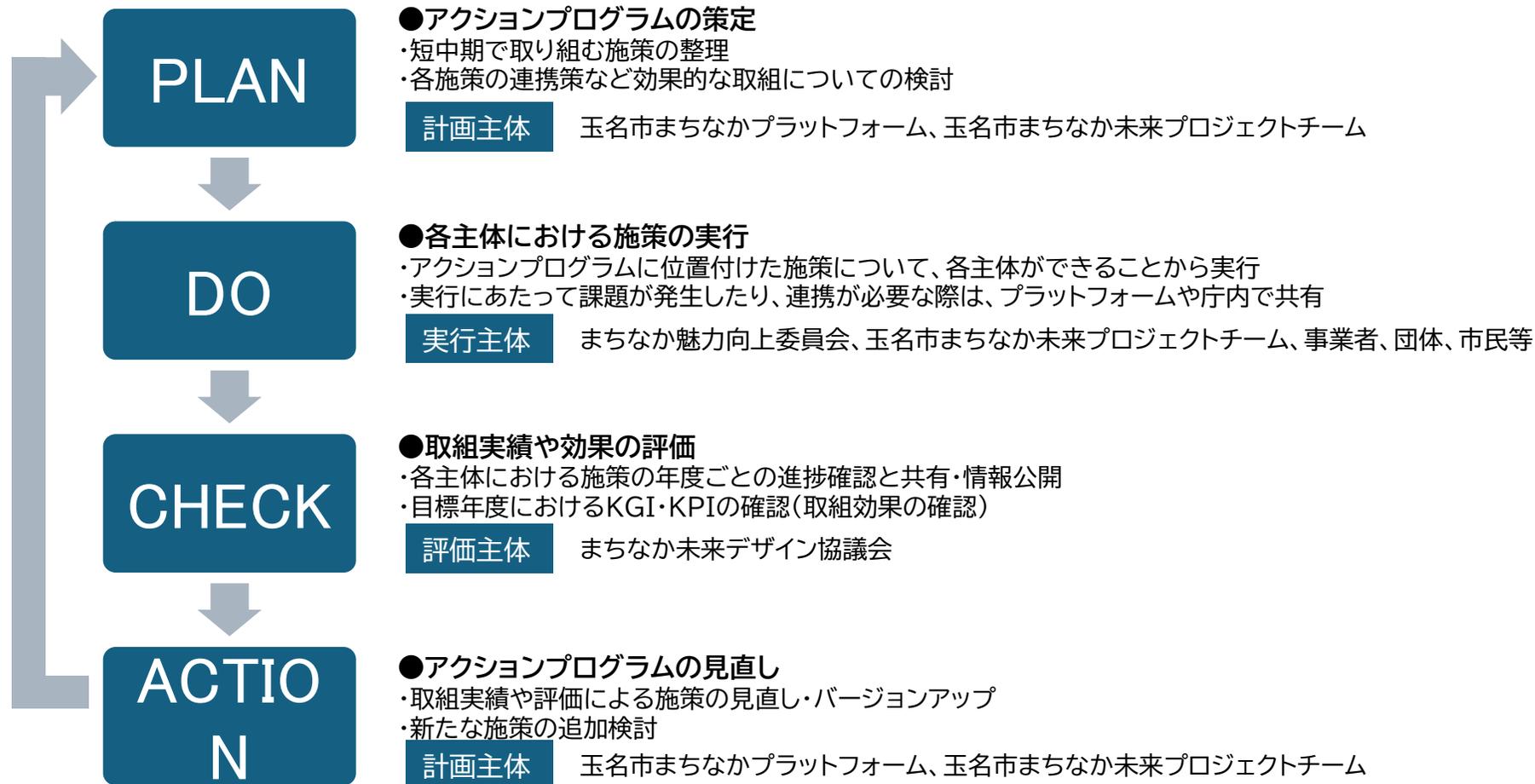


▲玉名市まちなか未来プロジェクトの推進体制イメージ

アクションプログラムの進行管理

●小さく初めて、改善しながら取組を広げていきます。

アクションプログラムの進行管理にあたっては、計画・実行・評価・改善の各段階で、各種対が役割分担や連携を行い進めていきます。まちなか未来図の実現にむけて、まずできることから小さくはじめ、その取組効果の評価や課題の共有、改善を繰り返しながら、取組を広げていきます。



卷末資料
施策一覽表

施策一覽表

①やろう！～やりたい遊びや仕事にチャレンジし、実現できるまちなか

カテゴリ	事業名称	細事業名称	内容	事業期間	事業主体	所管課	対象地域
① イベント	競技スポーツ大会補助事業	金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	金栗杯ハーフマラソン運営を補助し、市のPRと若手ランナー育成を同時に推進	継続 (H17~)	市 九州陸上競技協会	スポーツ振興課	高瀬繁根木
① イベント	-	-	イベントの開催	今後実施予定 (R07~)	魅力向上委員会		全域
② 関係者連携	体育団体運営支援事業	スポーツ推進委員協議会等運営事業	スポーツ推進委員に補助を行い、住民が日常的に楽しめる環境整備を支援	継続 (H17~)	行政	スポーツ振興課	全域
② 関係者連携	官学連携事業	官学連携事業	熊本県内の大学と包括協定を結び、教育・研究資源を活かした連携事業を推進	継続 (H17~)	行政	企画経営課	全域
② 関係者連携	-	-	社会福祉協議会との関係構築・連携強化	未定	行政	総合福祉課	全域
③ 交流・体験	博物館事業	体験学習事業	博物館内や屋外で体験学習会を開催し、子どもから大人まで幅広い学習機会を提供	継続 (H17~)	行政	文化課	全域
⑦ まちなか・都市整備	まちなか賑わい再生事業	まちなかデザイン構築事業	まちなか魅力を図り、賑わいと魅力ある中心市街地形成を推進	実施中 (R05~)	行政	都市整備課	全域
⑦ まちなか・都市整備	まちなか賑わい再生事業	玉名市まちなかプラットフォーム基盤強化	まちなか魅力向上委員会を支援し、官民が協働する自主可能な組織体制を強化	今後実施予定 (R07~)	行政	都市整備課	全域
⑧ 駅周辺整備	新玉名駅周辺整備事業	新玉名駅周辺インフラ整備業務	新玉名駅周辺で道路や排水路整備を行い、安全で快適に暮らせる都市基盤を形成	実施中 (R02~R09)	行政	都市整備課	新玉名駅
⑧ 駅周辺整備	新玉名駅周辺整備事業	新玉名駅周辺整備関連事業	新駅周辺に伴い地権者協議や文化財調査、水路清掃を推進	実施中 (R02~R09)	行政	都市整備課	新玉名駅
⑧ 駅周辺整備	新玉名駅周辺整備事業	新玉名駅周辺商業施設等立地促進奨励金	新駅周辺での事業者出店に奨励金を交付し、周辺地域の開発を推進	実施中 (R03~R12)	行政	都市整備課	新玉名駅
⑦ まちなか・都市整備	都市計画法等に基づく事務事業	3D都市モデルユースケース開発事業	市内3D都市モデルを活用し、防災・観光・公園整備など幅広い分野で利活用できる仕組みを開発	実施中 (R04~R08)	行政	都市整備課	全域
⑦ まちなか・都市整備	都市地域総合空間創成	ニューモビリティ導入事業	まちなかエリアで新しい交通体系導入を検討し、交通体系導入を検討し、周遊性と回遊性を高め利便性を向上	今後実施予定 (R07~)	行政	都市整備課	全域

巻末資料として施策一覽表を作成予定
※カテゴリ、事業名、事業内容、期間、主体、対象地域、コンセプト等を記載

行政内や玉名市まちなかプラットフォーム、民間事業者などからのヒアリングを基に KGI 達成に向け、本アクションプログラムで進行管理していく施策を抽出し、掲載する予定。



～玉名市まちなかランドデザイン～まちなか未来図

作成日：令和7年3月

発行：玉名市

編集：玉名市まちなか未来プロジェクト

(建設部 都市整備課)

TEL：0968-75-1122

FAX：0968-75-1221

toshi@city.tamana.lg.jp
